

議会だより

第3回臨時会

佐藤町政の“肉付け予算”を審議

平成29年度一般会計補正予算32億9,823万5千円を可決

一般会計総額は121億4,023万5千円に



平成29年2度目の予算常任委員会

※肉付け予算…経常経費等の最小限な経費による「骨格予算」に対し、
当選した町長の意向を反映した政策的な経費による予算

平成29年第3回議会臨時会は、
4月28日から5月2日までの5日
間の会期で開催されました。
専決処分の報告及びその承認、
議会に付すべき契約案件のほか、
3月議会・予算常任委員会でも求
めた佐藤町長当選後の「肉付け予算」
が提案され、再度、予算常任委員
会を開催し、審議し可決しました。
その主な内容について、予算常
任委員会審査報告と合わせてお知
らせします。

※議会意見
が予算常任委員会審査報告・
意見です。

総務課

主 な 内 容	補正予算額
山木屋消防屯所新築工事	3,639万4千円
デジタル防災行政無線整備事業	3億4,114万円

① 山木屋地区の消防団組織については、帰還する団員の把握に努め、消防力を強化するとともに、他地区の消防団と連携を図り、災害等の対応に万全を期すること。

② デジタル防災行政無線の整備は、施設の利用目的に沿って整備されるべきであり、耐用年数や使用方法、緊急時の対応等早急に町の方針を明示すること。



山木屋地区の消防団員（6月4日の水防訓練）

議会意見

企画財政課

主 な 内 容	補正予算額
旧福島県繊維工業試験場跡地賃貸借契約を解除するための原状回復工事（井戸の撤去費用）、弁護士相談に係る費用	713万2千円

① 旧繊維工業試験場跡地については、地権者と早急に話し合いを進め、土地の返還に向けた取り組みを図ること。

② 地方債については、低利で借入れできるように検討すること。

議会意見

保健福祉課

主 な 内 容	補正予算額
インフルエンザ予防接種 費用助成	105万円
胃がん施設検診	682千円

① 胃がん検診、インフルエンザ予防接種の事業は、町民の健康維持が目的であるので、予算の範囲内で一方的に打ち切ることなく、希望者に対しては、100パーセント実施できるよう、希望の医療機関でも受診できるように対策を講じること。

議会意見

原子力災害対策課

主 な 内 容	補正予算額
汚染物質運搬業務委託料	5,029万5千円
山木屋地区復興拠点に係る事業	477千円

① 山木屋地区復興拠点（商業施設）の施設運営については、商業施設と食堂の業者選定を早急に行い、復興に向けた生活支援に支障がないよう対応すること。

② 除染後の農地の地力回復については、早急に堆肥を投入するなど、国の責任において実施すること。



7月1日にオープンする復興拠点

建設水道課

主 な 内 容	補正予算額
町道改良等事業 (西方飯野線、芦沼田線、西町線、平場線、新中町・中道線、中島・諏訪線、廣町・宮ノ後線、日和田・中丁線)	計 1億3,529万6千円
空家等対策事業費	1,800万円

① 町道日和田・中丁線については、過去の経過を踏まえ、県と町との費用分担について、再度、確認のうえ協議検討を図ること。

② 空家対策は、空き家、空き地の安全管理面への対策だけでなく、定住希望者に対する情報提供など、定住促進を図ること。

議会意見

産 業 課

主 な 内 容	補正予算額
施設園芸導入推進事業	10億4,258万8千円
粗飼料生産流通拠点施設整備事業	7億3,400万7千円
営農再開支援事業	1億3,749万3千円

① 山木屋地区の広大で優良な農地が失われることのないよう、保全意向の決まっていないう、除染後の農地についても、町が主導的な役割を果たし、計画的に管理保全を図ること。

② 粗飼料生産流通拠点敷地整備事業は6人体制となつているが、山木屋の農地保全は復興の重要な施策であることから、事業体制の拡充・強化を図ること。

③ 農事組合法人による粗飼料生産や管理保全が円滑かつ持続的に図られるよう、町として、農地維持管理のサポート

④ 個人で農地保全を図る人についても、十分な支援を講じること。

⑤ 従来の営農再開者についても十分な支援をすること。



粗飼料生産拠点整備で導入するトラクター

議会中継をスマートフォンで！

パソコンだけでなく、スマートフォンでも議会中継がご覧いただけます。ライブ中継のほか、昨年12月以降の録画中継がスマートフォン対応です。

※携帯のアプリでQRコードを読み取るとページにつながります。



子育て支援課

主 な 内 容	補正予算額
出産祝金給付金（増額分）	200万円



子どもを生み育てやすいまちをめざします

議会意見
① 出産祝金が不足した場合は、補正予算に計上し、対応すること。

学校教育課

主 な 内 容	補正予算額
山木屋小学校スクールバス購入費	398万2千円



山木屋小児童を送迎するスクールバス

議会意見
① スクールバスについては、児童・生徒の要望を調査し、運行すること。

生涯学習課

主 な 内 容	補正予算額
ケーナの響くまちづくりプロフェッショナル事業	241万8千円

議会意見
① フォルクローレのプロによる技術指導については、一過性で終わってしまうことのないよう、練習場所の確保など、継続的人材の育成に努めること。
② 町史編纂については、これまでも指摘されてきたように、早急に対策を講じること。

議会意見まとめ

平成29年度川俣町一般会計補正予算（第1号）、川俣町水道事業会計補正予算（第1号）は、当初予算に計上されなかった各種事業の実施に伴う政策的経費が計上された。

山木屋地区では避難指示解除後の復興へ向けた生業の確保や営農再開など、大規模な事業が行われるが、今後の事業の見通しや事業を運営する人材の確保など、解決しなければならない課題が多く残されている。本予算は、政策的予算とは言いが、避難解除後の生

活再建や住民支援などの具体的政策は示されていない。川俣町全体の復興に対する具体的かつ、きめ細やかな政策にも欠けていることから、今後、改めて具体的な政策課題について、早急に提案を求めるものである。今回指摘した事項について、速やかに対応するとともに、適切な事業実施を強く求め、平成29年度川俣町一般会計補正予算（第1号）、川俣町水道事業会計補正予算（第1号）2件は可決すべきものとする。

予算常任委員会

委員長 新関 善三

補正予算に関する討論

反対

旧繊維工業試験場跡地の借地に関する経費が計上されており、再度、住民の税金を空き地に投げ捨てるような予算には反対する。
（遠藤宗弘議員）

賛成

予算常任委員会
で十分に審議し、町に要望もしている。住民福祉、復興予算が計上されており、絶対に町民には迷惑をかけられない。委員会報告のとおり賛成する。
（高橋清美議員）

広報編集 常任委員会 報告

議会だよりを もっと身近に

5月22日、ビッグパレットふくしまで研修会が行われ、委員6人が参加しました。

講師は、日本広報協会・広報アドバイザーの吉村潔氏です。

「予算に対する議会の意見を分かりやすく」などの指導を受けました。研修を活かし、より皆様に親しまれる議会だよりづくりに努めます。

（委員長 高橋真一郎）



告 報 察 視

東京電力 福島第1・第2原子力発電所

— 議会で視察研修会 —

5月9日、議会では福島復興の現状を知るため、現地を視察しました。

第1原発では放射性物質の飛散防止対策が進み、一般作業服での作業範囲が拡大していました。



東電第1発電所敷地内で一日も早い復旧を目指し、作業員皆さんが活躍しています



第2原発で格納容器内を視察
福島現状をより深く学ぶことができました

第2原発では、緊急災害時の電源確保策や、停止中の原子炉格納容器内に実際に入って視察を行いました。

また、中間貯蔵施設の建設状況などについても、復興庁職員から説明を受けました。

告 報 催 開

被災市町村議会の 連携と要望活動について

— 平成29年度東電福島第一原発事故
被災市町村議会連絡協議会開催 —

5月11日、役場庁舎大会議室で、原発事故で被災した関係市町村議会の代表が集まり、代議員総会が行われました。

役員改選が行われ、会長には28年度に続き、町議会の高橋議長が就任しました。

議事では、国、福島県及び県議会に対する要望書と、東京電力に対する要求書を提出することを決定しました。

構成市町村

南相馬市	田村市
伊達市	浪江町
富岡町	大熊町
楡葉町	双葉町
広野町	川内村
葛尾村	飯舘村
川俣町	

被災市町村議会連絡協議会代議員総会



会を代表して挨拶する高橋議長